

神出病院の医療従事者による集団虐待・暴行事件に対する声明

令和2年4月8日

公益社団法人 兵庫県精神福祉家族会連合会

会長 新銀輝子

私たちは兵庫県下に精神障害者を身内に持つ家族と精神障害問題を幅広く社会に発信し普及活動に努めている会員で構成している「兵庫県精神福祉家族会連合会」です。

2020年3月4日に看護師6名らが逮捕された、医療法人財団兵庫錦秀会神出病院の事件は私達家族にとっては、憤りが大きすぎて言葉になりません。

事件が発覚し、報道されてから今日まで、会員の方はもとより多くの方の情報を集めてまいりました。

結果、見えてきたのは神出病院の事件は特異な事件ではなく氷山の一角であるという意見が、圧倒的に多かったということです。

病院は病気を治すために入る施設です。少なくとも、回復し社会に復帰できることを想像し入院します。医療従事者との信頼関係に基づく治療が適切になされるのが基本です。一般の病院では当たり前の事が、何故、精神病院ではこのような事件が繰り返し行われるのでしょうか。

私たちは、医療従事者に対して敵意を持つものではありません。多くの患者や家族は当たり前に適切な治療をしてくださることを求めているのです。

何故、看護師らの虐待が長きにわたり表面化しなかったのでしょうか。恐怖以外のなものでもありません。

家族は多かれ少なかれ、他科の病院と比べて医療従事者が日常的に暴言を吐いていると認識しています。なぜ、他科と違うのでしょうか。密室で行われる絶対的立場の者が猛威を振る病院に家族は安心して治療を依頼できるのでしょうか。患者と真摯に向き合い精神疾患を治療、回復させようと思っておられる医療従事者との信頼関係が、この神出病院の事件をきっかけに崩れる事を大変危惧します。

いったい何が起きているのか、私たちは知りたいのです。

神出病院の関係者からは全くもって言葉を発してはいただけません。組織ぐるみの隠ぺいと言わざるを負えません。自分の家族があのような目にあつたとしても、黙って見ていられるのでしょうか。

今回の件は行政を中心とした第三者機関に家族と患者本人らの団体が参加出来る様、強く求めると同時に、兵庫県下全ての入院設備のある病院に対し視察と情報公開を求めます。様々な団体から声明文が出されています。私たち家族会の応援団体もあると認識しています。このことを教訓に二度とこの様な悲しい出来事が起きないように、家族会として情報発信していくことを、ここに表明致します。